

令和3年度(令和4年度受験)

第2回 進路説明会資料

目 次

I. はじめに	p, 1
II. 入試制度について	
1. 都立高校 (推薦入試)	p, 2
都立高校 (一般入試)	p, 3
第一次募集・分割前期日程	p, 4
東京都立産業技術高等専門学校の選考	p, 5
2. 私立高校 (推薦入試)	p, 6
私立高校 (一般入試・優遇制度)	p, 7
III. その他 (その他の上級学校、就職)	p, 8
奨学金について	p, 9
IV. 進路決定までの流れ	p, 10
V. 今後の進路の流れ	p, 11
VI. 知っておきたい情報	p, 12
VII. おわりに	p, 13

【参考資料】

令和3年度 都立高校入学者選抜の主な日程	p, 14
進路用書類の資料/中学校3年間の活動記録[資料1]	p, 15~16
諸活動の記録[資料2]	p, 17~18
都立高校推薦願[資料3]	p, 19
私立高校推薦願[資料4]	p, 20
私立高校併願優遇願[資料5]	p, 21
受験関係書類作成依頼書[資料6]	p, 22
本校の期待する生徒の姿[資料7]	p, 23
令和3年度入学者選抜実施方法[資料8]	p, 24
文化・スポーツ等特別推薦実施校の選抜方法等一覧[資料9]	p, 25
都立一般推薦書[資料10]	p, 26
都立文化・スポーツ等特別推薦書[資料11]	p, 27
東京都立高等学校入学願書 (第一募集・分割前期募集) [資料12]	p, 28
// (裏面)	p, 29
// (記入例)	p, 30
調査書 (公立用) [資料13]	p, 31
自己PRカード[資料14]	p, 32

令和2年10月9日 (金)

港区立六本木中学校

3年 組 番 名前

I. はじめに

☆進路の選び方

3年生は、あと約5ヶ月あまりで9年間に渡った義務教育が終了します。その先の進路を、自分の意志で選択する時期が近づいてきました。とかく「進路」といえば高校へ進学することと考えがちですが、それだけが進路ではありません。「技能連携制度」を使って「高等学校卒業資格」も同時に取得できる高等専修学校もありますし、特定の技術を学ぶ各種学校や職業開発能力センターもあります。就職して社会に出ることももちろんひとつの進路です。さらに、就職しながら夜間の定時制高校に進むという進路もあります。

ここ数年、社会情勢は大きく変化し、高校入試においても、毎年のように改革が推進され、入試方法や教育内容も大きく変容してきました。特に進学に関しては、都立高校も幅広い選択肢が用意されるようになり、一人ひとりの生徒が自らの特性や将来を考え、選択できるようになってきました。反面、自らの意志で選択する自覚や意欲が重要になってきています。

進学するという事は、これからも学習を続けるということです。自分は特に何に力を入れて学ぶのか、何に情熱をかけようと思っているのか、将来の夢にはどんなことがあるのか・・・といったことを深く考え、選択してほしいと思います。都立高校に提出する「自己PRカード」にも「高校卒業後の進路について」を記入する欄もあります。

さらに、受験を考える高校に関しては、必ず自分で足を運び、自分の目で見ておくことが必要です。3年間通う可能性があるのですから、入学してから、自分の考えていたのと違った、こんなはずではなかったと思っても遅いのです。自分がしたい勉強ができるのか、校風は自分に合っているのか、部活動は、行事は、通学時間は、卒業後の進路は、などなど、よく調べておきましょう。

☆受験の心得

入試は、どんな生徒でも緊張するものです。例えば、都立高校を第一志望にする人が私立高校を選ぶ場合、私立高校の方が入試・発表とも都立の一般入試の前にありますから、合格可能性が高い高校を1校は受検する方が良いと言えます。合格通知を一つ持っていれば、他の高校を受けるときの緊張感が全く違います。試験当日だけでなく、前夜の緊張感のことも考えると、なおのことそれが言えます。

また、都立高校の場合は、高校それぞれが「期待する生徒の姿」を打ち出してはいるものの、推薦基準に具体的な数値をあげている学校はほとんどありません。基準を明確に設けている私立高校の推薦入試とはちがひ、誰もが受検できるのですが、実際には高倍率で合格が難しいのです。「だめでもともと・・・」という気持ちで受検したとしても、残念な結果に終わった時に受けるショックはかなりのものがあります。それが一般入試にまで尾を引いてしまうことがありますので、推薦での入試を考えるときには、本人の性格も十分に考慮してください。

必ずしも第一志望校に合格できるとは限りませんので、不合格だった時のことも考えておく必要があります。第二志望校、第三志望校を考える場合、そこでなら頑張っていけるという気持ちを持てるかが非常に大切になります。そのためにも、高校をよく調べてください。

受験は生徒達にたいへんなプレッシャーを与えます。精神的に追い込まれる生徒も出てくるのが予想されます。体調管理も必要になります。また、適切なスケジュール管理も求められます。東京の私立高校受験は2月10日～12日に集中しています。千葉県や埼玉県の私立高校はそれ以前に行われ、合格しても行くつもりがないのに、力試しに受験する生徒が毎年見られますが、結果のよし悪しよりも体力気力ともに消耗し、第一志望校の受験の時に力を発揮できないことも心配されます。この説明会で後述しますが、第一志望校に合格するとは限りません。そのために第二志望、第三志望の高校も受験する人が多いと思います。第二、第三志望校に進学することになる人も少なくありません。そのような結果になっても、その高校に3年間通学し次の進路へとつなげていけるよう、興味関心や魅力を感じ、行っても良い高校を受験するようにしてください。

Ⅱ. 入試制度について<令和3年度(2021年度)入試>

1. 都立高校

(1) 推薦入試について その高校を第一志望とする生徒を対象に、中学校長の推薦を受けて受検

① 一般推薦(都立高校では具体的な合格数値は示されない。「本校の期待する生徒の姿」の中に、「特に推薦選抜では…」と示したものに基づき、各高校が選考します。)

② 文化・スポーツ等特別推薦(文化面・スポーツ面で優れた実績があり中学校長に推薦された者。)

募集人員は一般推薦の人員に含まれる。同一校の一般推薦に併せて出願することができます。提出書類は高校が志願者に配布した様式を用います。

今年度は活動の実績等を証明する書類の提出はありません。)

※実施する高校・種目については [資料 9] 参照

[都立高校推薦選考の仕方]

調査書点	個人面接点	小論文か作文点か実技検査点
総 合 成 績		

※推薦入試における調査書点は、調査書における各教科の観点別学習状況の評価、または評定のどちらか一方を点数化します。

※小論文または作文、実技検査、その他学校が設定する検査の中から、各学校が一つ以上選んで実施します。

※「自己PRカード」は出願時に提出し、面接時の参考資料になります。[資料13]

[推薦入試選抜日程]

在京外国人生徒対象(国際高校除く) 1/20・21 出願 国際高校 2/9・10 出願

※1校1コースまたは1科に限る(同一学科内に2科以上ある場合は、第2志望として指定可能)

事 項	日 時
出 願	令和3年1月12日(火)～1月15日(金) 中学校からまとめて郵送 一般推薦書 p,26 [資料10]、文化・スポーツ特別推薦書 p,27 [資料11] 入学願書、調査書、自己PRカード
考 査 料	2,200円(全日制) (所定の納付書で金融機関で納入、領収書を願書に貼付します) (文化・スポーツ特別推薦と一般推薦を併せて出願する場合は、そのおのおの について考査料2,200円必要となります。)
検 査 実 施 日	令和3年1月26日(火) 同日
合 格 発 表	令和3年2月 2日(日) 午前8時30分
入 学 手 続 き	令和3年2月 2日(日) 午前9時～午後3時 令和3年2月 3日(月) 午前9時～正午
入 学 料	5,650円(全日制)合格発表日から5日以内

郵送出願!

原則検査日は1日ですが、実技検査があれば2日間

Web 発表!

※必要書類は中学校で配布。ただし、文化・スポーツ等特別推薦書は志願者が各高校から受け取ります。

※書類に使用する保護者印は朱肉を使用してください。(シャチハタ等は不可)

☆合格した場合は、他の国公私立すべての高校の受験はできません!

(2) 一般入試について 都立高校では1校だけ受検。(第一次募集、分割前期後期、第二次募集)

都立高校一般入試では、第一次募集と分割前期募集が同じ日に実施されます。

前期と後期に分割して受検者を募集する学校は、必ず2回受検する機会があるが、それ以外の学校では、第一次募集で定員数を満たすと、第二次募集を行わないので注意してください。

また、分割後期の募集人数は少ないうえ、高倍率になるので注意が必要です。

※近隣の学校では、日本橋高校・八潮高校・田園調布高校・深沢高校などが分割後期募集を実施します。

[都立高校一般入試選考の仕方]

学力検査得点	調査書点	面接点	小論文か作文点	実技検査点
総合得点(1,000点)		(※)	(※)	(※)
総 合 成 績				

(※)印は、実施する学校としない学校があるので注意。

「自己PRカード」は、面接のある学校は出願時に提出し、面接時の参考資料になる。それ以外の高校は、合格し手続きが終わった後に「入学関係書類提出日」に提出します。

【学力検査の教科数と学力検査と調査書の比率】

		学力検査を実施する教科					学力検査:調査書		その他の検査		
第一次募集	全日制	国語	数学	英語	社会	理科	7:3		面接	作文	実技
分割前期募集	定時制	国語	数学	英語	社会	理科	7:3	6:4	面接	作文	実技
第二次募集	全日制	国語	数学	英語	/		6:4		面接	作文	実技
分割後期募集	定時制	国語	数学	英語			6:4	5:5	面接	作文	実技

※その他の検査は学校によって実施の有無が違ふ。しかし定時制課程の入試では必ず面接を実施します。

※全日制課程(芸術科・体育科では 学力検査3科(国数英)+実技検査 6:4) 総合芸術高校・駒場高校

※傾斜配点 [実施校]8校 国際(英語 2 倍)、科学技術、多摩科学技術(数理 1.5 倍)

千早(国英 1.5 倍)、大田桜台(国英社 1.5 倍)、小平外国語コース(英 2 倍)

深川外国語コース(英 2 倍)、松が谷外国語コース(国英 2 倍)

【調査書点算出のための換算方法】

換算方法の例 5科合計 + 実技教科の評定の合計×2

国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語
5	4	3	3	3	4	5	3	3

5科合計	4科合計×2
18	+ 15×2 = 48

学力検査を実施しない科目は評定×2 この制度は、どの教科の授業も大切に、前向きに取り組める生徒を求めています。

学力検査を5教科、学力検査の得点と調査書点の比較を[7:3]で実施する学校の場合

★総合得点の満点は1,000点になるので、学力検査の得点と調査書点の比率が[7:3]の場合、調査書点の満点は300点となります。

★オール3の場合、5教科の評定の合計は 3+3+3+3+3=15

4科の評定の合計は (3+3+3+3)×2=24 合計39点となります。

★この点数を総合得点の調査書点 300点満点に換算する。300点×39点÷65点(評定の満点)=180点

★この人の持ち点は180/300点となります。

(小数点は切り捨て)

第一次募集・分割前期募集入試選抜日程

在京(国際高校) 検査 2月16日(火)→発表 2月18日(木)
都立高校の第一次・分割前期募集にも出願することができる

事 項		日 時	
出 願		令和3年1月29日(金)～2月 4日(木) 中学校からまとめて郵送 定時制高校も同様 入学願書(考査料全日制 2,200 円、定時制 950 円納入領収書貼付したもの)、 調査書、自己PRカード(面接実施校)	
志 願 変 更	取り下げ	令和3年2月12日(金)	午前9時 ～ 午後3時
	再提出	令和3年2月15日(月)	午前9時 ～ 正午
実力検査及び面接		令和3年2月21日(日)	集合:午前8時30分
面接・実技検査等		令和3年2月22日(月)	以後、各高校が定める
合 格 発 表		令和3年3月 2日(火) (全日制) 午前8時30分 定時制も同様だが校内掲示時刻が高校により違う	
入 学 手 続		令和3年3月 2日(火) (全日制) 午前9時 ～ 午後3時 (定時制) 午後3時30分 ～ 午後8時 3月 3日(水) (全日制) 午前9時 ～ 午後3時 (定時制) 午後3時30分 ～ 午後8時 定時制は学校により時間が違うので注意 ※面接実施しなかった高校には、手続の時の提出書類とともに、自己PRカードも提出します。	
入 学 料		全日制 5,650 円 定時制 2,100 円 合格発表日の翌日から5日以内	

郵送出願

Web 発表!

※国際高校に合格したものは、第一次募集・分割前期募集に出願していても、受検はできません。

第二次募集・分割後期募集入試選抜日程

事 項		日 時	
出 願		令和3年3月 5日(金)	午前9時 ～ 午後3時
志 願 変 更	取り下げ	令和3年3月 8日(月)	午前9時 ～ 午後3時
	再提出	令和3年3月 9日(火)	午前9時 ～ 正午
実力検査及び面接		令和3年3月10日(水)	集合:午前8時30分
面接・実技検査等		令和3年3月11日(木)	以後、各高校が定める
合 格 発 表		令和3年3月16日(火)	正午
入 学 手 続		令和3年3月16日(火)	正午 ～ 午後3時
		3月17日(水)	午前9時 ～ 正午

- ★推薦入試合格者(私立高校も都立高校も)には、都立高校一般入試の受検資格はありません。
- ★私立高校の併願優遇制度を使ってその私立高校に合格した者は、制度の特性上、上記の第二次募集・分割後期募集を受検することはできません。
- ★都立高校に合格し、入学確約書を提出したら、必ず入学することになります。入学の意志がないのに都立高校を受検することは、他の受験生の入学機会を奪うことになるので控えて下さい。

(3)東京都立産業技術高等専門学校の選考（男女共学・5年制）

- 高専品川キャンパス(機械システム工学・生産システム・電気電子・電子情報工学の各コース)
- 高専荒川キャンパス(情報通信・ロボット・医療福祉・航空宇宙工学の各コース)

【教育理念】

首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストを育成するために、科学技術の高度化、複合化、グローバル化に迅速に対応できる応用力、創造力を有した実験的技術者を育成します。

【求める生徒像】

- (1)向上心を持ち、自分の決めた目標に向けて粘り強く努力できる人
- (2)高専での教育を受けるのにふさわしい基礎知識・能力を有している人
- (3)コミュニケーション能力を身に付け、世界を舞台に活躍したい人
- (4)ものづくりが好きで、実践的技術者になりたいと考えている人

【募集人員】

「令和3年度東京都立産業技術高等専門学校入学者選抜実施要項」に基づき入学者選抜を実施。
募集人員は10月下旬に発表。

【出願上の注意】

- ・入学考査料は12,600円。品川キャンパスと荒川キャンパスいずれかを志願し出願。
- ・入学願書等は各自で高専へ行って準備する。中学校には配布されません。

【検査内容】

- ◆推薦 調査書 500点・面接 300点、小論文 200点(与えられた資料に基づいて自分の考えを書く)
- ◆一般 調査書:学力検査(3教科、各50分)=7:3
 - ①国語 ②数学 ③英語 数学に傾斜配点(1.5倍)
 調査書は国数英以外の教科は1.2倍する。ただし理科は1.4倍。

【第二次募集】 推薦に基づく選抜、第一次募集で入学者総数が募集人員に達しない場合に実施。

【出願時必要書類】

- 入学願書(考査料12,600円の領収書を貼付。保護者印は朱肉を使う。)
- 調査書(都立高校の調査書とは別様式)
- 自己PRカードは提出しない

【入学手続】

- ・入学確約書に押印して提出
- ・入学料 42,300円を納入(合格日の翌日から5日以内)

【入試日程】★募集要項の配布は11月27日より開始

事 項	推薦に基づく選抜(都内生のみ)	学力検査に基づく選抜(都外生も可)
出 願	令和3年1月12日(火)~1月15日(金) 郵送	令和3年1月29日(金)~2月4日(木) 郵送
検 査	令和3年1月27日(水)	令和3年2月16日(火)
合格者の発表	令和3年2月 2日(火)	令和3年2月19日(金)
入 学 手 続	令和3年2月 2日(火)9~15時 2月 3日(水)9時~正午	令和3年2月19日(金)9~15時 令和3年2月20日(木)9時~正午

※合格した場合は、他の都立高校を受検することはできません。

2. 私立高校 出願・振込・手続などの期日は必ず各自で確認を！

(1) 推薦入試について 推薦A(単願)・第一志望推薦 などと各高校でいろいろな呼び方がありますが

- 中学校校長が推薦する者(都立高校の推薦と同じ)
- その高校が第一志望であること。(合格したら必ず入学することが必要)
- その高校が定める推薦基準(素内申の数値)を満たしていること。

〔内申の基準、出席状況、特別活動の状況、英検、漢検などの資格についての他に
説明会、体験入学、個別相談等への参加が条件となる学校もあります。〕

- 募集人員の50%以内で各校が定めます。

【推薦受験までの流れ・注意事項】

- ① 推薦入試希望者は第4回進路希望調査にその旨を記入し、11月の三者面談で申し出てください。
- ② 希望を受けて、校内推薦委員会を経て、校長が被推薦者を決定します。
- ③ 被推薦者は三者面談にて推薦受験を確認し「推薦受験 確認書」(p,15)を提出してください。
- ④ 12月の入試相談日に中学校から推薦希望者のリストを各高校に持参し、各高校の推薦基準と比べて該当生徒の可否の可能性について確認します。高校との相談結果によっては志望校を変更せざるをえなかったり、同一校の一般受験に回ったりするケースも考えられます。

すなわち、11月の三者面談で申し出なければ、入試相談に持っていけないので注意してください！！

また、本校の推薦基準はもちろん、志望校の推薦基準に達していなければなりません！！

- ⑤ 入試相談で高校側に書類を提出した後の受験校の変更はできません。
- ⑥ 合格した場合は他校の受験は一切できません。六本木中学校から推薦された生徒として3年間学業に専念することが求められます。
- ⑦ 以前は、推薦基準を満たして受験すれば ほぼ合格していましたが、最近では上限が50%と厳しく決められたため、一部の有名私立高校は水増し入学をせず、不合格者がかなり出る高校もあります。
- ⑧ 推薦基準はあくまでも受験資格であり、他の受験者の内申が高い場合には、不合格となります。
- ⑨ 推薦入試での合格者は一般入試の生徒に比べて一か月も早く進路が決定します。気の緩みにより学力の低下、生活の乱れにならないよう、注意して下さい。それを防ぐために、一般受験生徒と一緒に学力検査をしたり宿題を出したりする高校も多くなっています。

調査書点(内申基準)	面接点	作文点	※適性検査(国・数・英)
総 合 成 績			

※適性検査は実施する学校としない学校があります。

※高校によって検査内容が違います。それぞれの検査項目の比重も発表されていません。

【推薦入試への準備】

- ◆ 願書等必要書類は各高校で購入などして、各自で準備してください。
- ◆ 出願に必要な書類は、内容・期限に注意してください。
 - ・ 願書は基本のご家庭で記入します。
 - ・ 調査書、推薦書は学校で作成します。「受験関係書類作成依頼書」の封筒に入れて学校に提出してください。
 - ・ 調査書の様式にも注意してください。(高校独自の様式や公立高校の様式可能など)
- ◆ 受験料は金融機関に振り込んだ領収書を出願時に提出することが多くなっています。
- ◆ Web 出願が増えてきています。受験料をコンビニ等に振り込むと出願手続きが完了し、自宅で受験票をプリントアウトする高校もあります。
- ◆ 合格発表も当日の午後にネットで発表する高校も多くなっています。手続きを忘れないようにしてください。

(2)一般入試について 私立高校では受験日程が違えば、複数校受験できます。

- 募集人員は推薦入試の対象人員を除く人数。
- 推薦受験が不合格になった者も受験できます。

【一般受験の流れ・準備】

- ① 願書は各自で準備する。受験する高校の説明会は必ず参加してください。
- ② 出願時の提出書類は各校でさまざまなので、受験要項はしっかり確認してください。
- ③ 延納願や健康診断書の提出を求める高校もあります。
- ④ 延納願に中学校長のサイン、印、担任の確認署名が必要な高校もあるので注意してください。

学力試験得点	調査書点	※面接点	※作文
総 合 成 績			

※ 面接を実施する高校が多い。学力試験は国語・数学・英語の3教科が多い。

※ 合否判定には、当日の学力試験の結果が大きな比重を占めています。

- ⑤ 入試日程さえ重ならないければ、何校もの私立高校を受験することは可能だが、連日受験することになるので、体力・精神力が耐えられるかどうか、よく考えることが大切です。

また、最初に受験した合否も影響してくるので、結果によっては精神的にかなり追い詰められることもあります。

- ⑥ 合格発表後、入学金を納入しなくてはならない学校が多いですが、都立高校の発表まで手続きを待ってくれる高校もあります。その際、書類が必要(延納願)になるので確認が必要です。
- ⑦ 補欠合格を設ける高校もあります。入学辞退者が出た場合、補欠合格者の上位者から繰り上げ合格となります。

(3)優遇制度について 11月の三者面談で必ず申し出てください。

- 第1志望優遇制度 要 入試相談

推薦基準に達しないが、その私立高校が第1希望である場合、合格したら必ず入学することを条件に学力試験の得点に加点がある制度のこと。高校での個別相談を必ず受けること。また、内申などの条件もある。加点があっても、合格点に達しない場合は不合格となります。

- 併願優遇制度 要 入試相談

他校(多くは都立高校)が第1志望で、第1志望校が不合格になった場合は必ず入学することを条件に学力試験の得点に加点で優遇してもらう制度。内申等の基準があります。

推薦入試の日ではなく 一般入試の日に受験することになります。

高校によっては私立併願が可能な場合もある。(公私併願可)他の私立高校が第一志望の場合がそれにあたります。

基準は推薦入試に比べて高めに設定している。検定、資格、特別活動などの加点がない高校が多いです。

※ 都立の推薦入試を受けて私立の併願優遇制度を使う場合、都立の推薦に合格してもその高校への出願を必ずすることが条件となる高校もあります。また、都立の推薦入試発表の前に、一般入試の出願が締め切られる高校もあるので注意が必要です。

※ 併願優遇制度を使って合格した高校よりも志望順位が高い高校に不合格となった場合、併願優遇制度を使った高校に進学していただくことになります。併願優遇制度を使って受験し、合格した高校の手続きをせず、他校の二次募集、都立高校の分割後期募集を受けることはできません。併願優遇制度を使う際は、そのあたりのこともよく考えることが必要となります。

Ⅲ. その他

1. その他の上級学校・就職について

(1) 高等専修学校

専修学校は、学校教育法に定められた正規の学校。どの課程も卒業後の就業や生活に役立つ教育を行い教育課程制度の柔軟性を生かし、特色ある教育を行っています。修業年限は1年以上だが、3年以上で総授業時間数が2800単位時間以上の学校では、高校卒業と同等の資格が得られ、大学進学への道が開かれます。工業、農業、医療、衛生、教育、社会福祉、商業実務、服飾・家政、文化・教養の8分野に分類されています。現在、都内にある専修学校の多くは高校卒業後に入学する専門課程ですが、中卒で入学できる高等課程を設置している学校もあります。

(2) 通信制高校補習校(サポート校)

サポート校とは、通信制高校に籍をおき、高校卒業資格を取得しようとする生徒をサポートするスタイルの学校です。普通の高校のように毎日授業があり、文化祭や運動会、部活動等もあります。ただし、二つの学校に学費を支払うことになるので経済的な負担は大きくなります。普通の高校にはない内容の授業や一人ひとりにきめ細かい指導があり、中学校時代不登校だったり、勉強についていけなかった生徒が、大学へ進学している例もあります。

(3) 都立職業能力開発センター(旧都立技術専門学校)

就職に直結した技術知識を学ぶ学校で、ハローワークと連携しています。訓練修了者には、就職の斡旋をしてくれます。科目によって受講期間が異なります。また、求職中・転職希望者のみを対象としているものもあります。授業料は無料(期間によって有料の場合もあり)、教材は一部を除き貸与されます。

(4) 企業内学校

おおむね3年間の訓練期間で、寮生活の学校が主です。高校卒業の資格が得られ、卒業後はこの企業で働くことになります。関東では唯一、日野工業高等学園(日野自動車)があります。

(5) 就職について

高校を卒業する人に比べると3年、大学まで進学する人と比べると7年も早く職業に就くことになるので、中学生の時には想像もできない社会の荒波にもまれることになります。実際に労働してお金をもらうことは大変なことです。残念ながら中卒の離職率は大きく3年後で70%ほどです。

① 公共職業安定所を通しての就職

港区立中学校は、ハローワーク品川(港公共職業安定所)が管轄となります。中卒は職種は限られることが多いですが、応募先が絞られたら、事業所を見学し、応募書類がハローワークを通して提出され、選考日時が連絡されます。採用選考の開始は1月以降となります。

② 縁故による就職

この場合でもハローワークに仲立ちしてもらうことができます。その方が、労働条件や福利厚生面のことをきちんと取り込むことができるので、縁故による就職の場合も早めに担任まで知らせてください。

※奨学金について

◇ 港区奨学資金

例年、本校では一番申込者が多い奨学金制度 11月初めに募集
月額 公立18,000円以内、私立35,000円以内
入学資金 公立80,000円以内、私立250,000円以内を正規の修業期間中貸与
無利子、卒業後15年以内に返済
世帯の収入などに制限があり、連帯保証人が必要。
詳細 港区教育委員会のホームページ

◇ あしなが育英会

保護者の方などが、病気や災害(交通事故を除く)もしくは死亡したり、それが原因で著しい後遺症で働けないため、教育費に困っている家庭 二次募集12月15日〆切
月額 公立25,000円、私立30,000円
私立高校入学一時金 30万円
無利子、卒業後20年以内に返済
詳細 <http://www.ashinaga.org>

◇ 交通遺児育英会

保護者等が道路における交通事故(踏切での事故・自転車事故を含む)で死亡したり、著しい後遺障害で教育費に困っている家庭 2月27日〆切
月額 国・公立および私立の高等学校 2万円、3万円、4万円の中から選択
入学一時金 20万円、40万円、60万円の中から選択
無利子、卒業後20年以内に返還 家計の収入などに制限があり。
詳細 <http://www.kotsuiji.com>

◇ 高等専門学校進学希望者奨学金(日本学生支援機構)

高等専門学校への進学を希望する者で、人物・学業ともに優れ、健康上修学に支障がなく、経済的理由により修学が困難な者 12月中旬〆切
詳細 <http://www.jasso.go.jp/saiyou/kousen.html>

◇ 古岡奨学生

母子家庭の子女であり経済的事由で高等学校の修業困難と認められる者(返還不要)
詳細 <http://www.gakken.co.jp/furuoka/>

◇ 浅草観音にいむら育英会

両親もしくは片親のない家庭の方で、経済的事由により進学困難な者
詳細 <http://askusa-niimura.or.jp/>

◇ 東京都育英資金奨学生

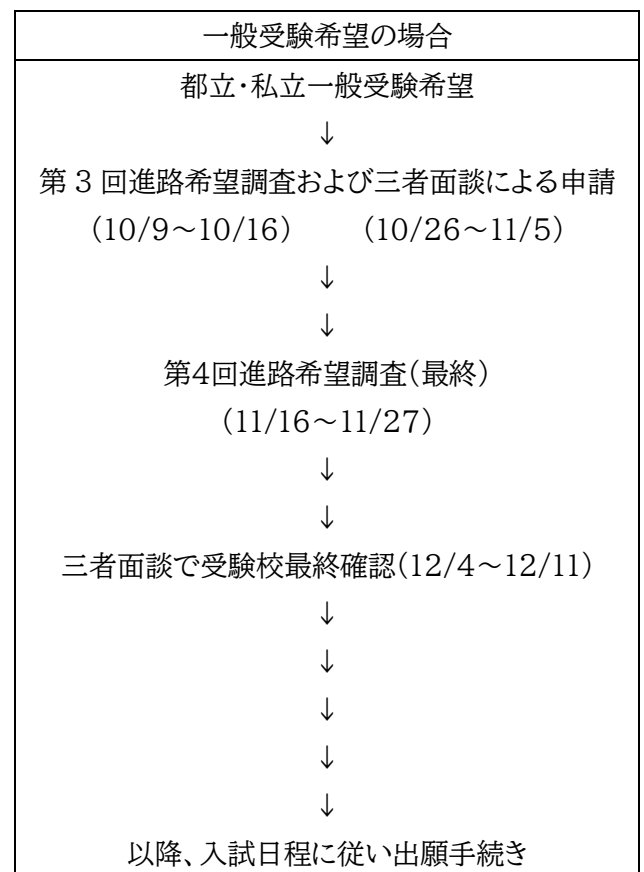
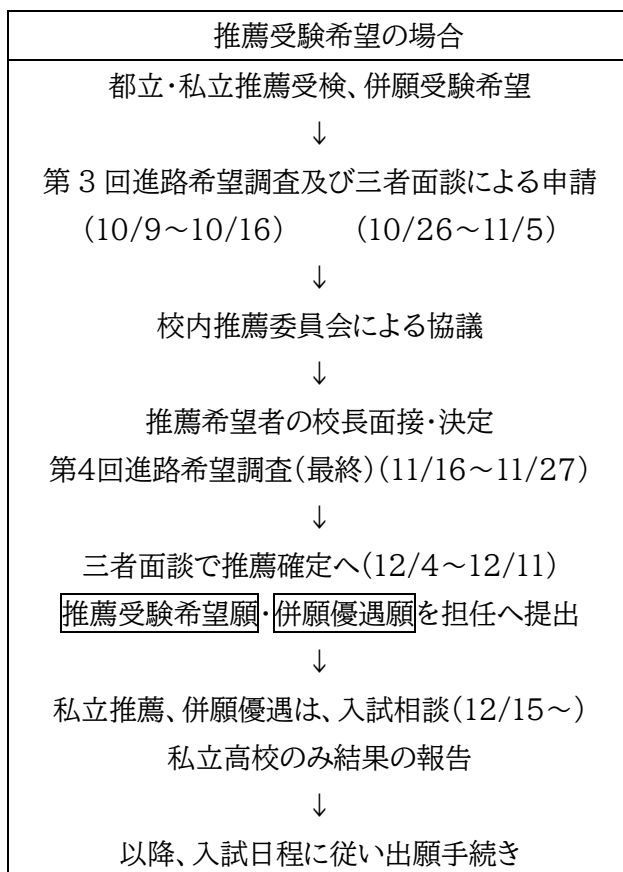
高校入学後に申し込み 月額 公立18,000円 私立35,000円
返還は年1回か2回のペースで概ね11~15年間。

IV. 進路決定までの流れ

- 高校進学・・・設置者(国立・公立・私立)、課程、学科、受験形態などの選択
- 専修学校等の選択・・・何を専門に勉強したいのか、出願・入試の時期、入学金などの確認
- 就職・・・縁故なのか、ハローワークを通すのか

高等学校進学希望の場合

- ①都立第一希望⇒**推薦入試** または **一般入試** どちらの制度を利用するのか
 推薦の場合、六本木中学校推薦基準を満たしているか
 ⇒私立高校併願の有無
 「併願校あり」⇒優遇制度を利用するのか、私立一般入試で臨むのか
 「併願校なし」⇒都立のみの受検になる。より慎重に受験校を選択する必要あり。
- ②私立第一希望⇒**推薦入試** または **一般入試** どちらの制度を利用するのか
 ⇒六本木中学校推薦基準と私立高校が提示している基準を満たしているのか。
 内申点、欠席、遅刻回数、各種検定の級、その他の活動(部活や生徒会活動等)



※入試関係書類について

	都立高校	私立高校
入学願書	中学校で配布(都立産業技術高専、チャレンジスクールは、各高校で配布)	各高校へ行き購入 (説明会で配布されるときもある)
推薦書	一般推薦書は中学校で配布 ※文化・スポーツ等特別推薦書は各自で準備	各高校へ行き購入(書類一式に入っている)
受験料納付書	中学校で配布⇒各自で振込⇒願書に貼付	書類一式⇒各自で振込
調査書	中学校で準備	高校独自用紙なら担任に提出 ※公立用紙可であれば中学校で用意

V. 今後の進路指導の流れ 提出書類の期日を厳守する！

今後、三者面談が2回(10~11月と12月)予定されています。その中で志望校を確定していきます。ただし、推薦・優遇制度を希望される場合は、10~11月の面談で必ずお申し出下さい。志望校が確定した後は、「受験関係書類作成依頼書」の封筒を使っての出願関係の書類のやり取りや、調査書への記入事項の確認などの提出などがあります。期日を厳守していただきますよう、お願いいたします。書類はすべて消えないボールペンで正確に記入し、印鑑は朱肉を使用して下さい。なくしたり、汚したりしないよう、十分に注意して下さい。

[2学期]

10月	中間考査(10/1) 第2回到達度テスト(9/28,30,10/5,7,8) 第2回進路説明会(10/9) 第3回進路希望調査(10/16 \times 切厳守) 「進路用書類の資料・中学校3年間の活動記録」配布 [資料1] 進路面談(10/26,27,28,30)	推薦希望者は早めに検討 校内推薦委員会検討リストにのせます
11月	進路面談(11/2,5) 面接練習 期末考査(11/19,20,21) 第4回進路希望調査(最終)(11/27 \times 切) 校内推薦委員会にて推薦受験者決定	具体的な志望校の絞り込みをします。 「諸活動の記録」 [資料2] 配布 「推薦書類確認書」 [資料3・4] 配布 「私立併願優遇確認書」 [資料5] 配布
12月	最終三者面談(12/4,7,8,9,10,11) 私立推薦希望者の方は早めの日程を希望して下さい 面接練習 自己PRカード下書き \rightarrow 清書 私立高校入試相談日(12/15)	私立高校(推薦・併願優遇)は決定 都立高校(推薦志望校・一般入試志望校確認) 受験関係書類作成依頼書[資料6]配布

[3学期]

1月	都立推薦受検準備(願書納付書配布 回収) 私立推薦入試出願(1/16) \rightarrow 私立推薦入試(1/22) \rightarrow 私立推薦入試合格発表(1/22~) 都立推薦入試出願(1/12~15) \rightarrow 都立推薦入試(1/26,27)	私立高校のWeb出願には十分に注意する
2月	都立推薦入試合格発表(2/2) 私立一般入試出願(2/2~) \rightarrow 私立一般入試(2/10~) \rightarrow 私立一般入試合格発表(2/10~) 都立一般入試出願(1/29~2/4) \rightarrow 都立一般入試(2/21,22) 学年末考査(2/24,25,26)	
3月	都立一般入試合格発表(3/2)・手続き 都立二次・分割後期募集出願(3/5) \rightarrow 入試(3/10) \rightarrow 発表(3/16)	

資料6

保護者の方へお願い

※受験関係書類は、ご家庭で記入し担任に提出された「受験関係書類作成依頼書(封筒)」をもとに作成します。私立高校のものは各校違いますので、その高校の説明会に参加し、よく確認しておいてください。また、期日厳守でお願いします。作成には時間を要します。

VI. 知っておきたい情報

①在京外国人生徒対象の選抜

在京外国人生徒対象の選抜(4月入学)について、令和2年度入学者選抜から杉並総合高校でも実施されることになり、合計8校になりました。

【4月入学生徒の選抜実施校】竹台、田柄、南葛飾、府中西、飛鳥、六郷工科、杉並総合、国際

②男女別定員制の緩和

第一次募集・分割前期募集において、男女別の募集人員の9割に相当する人員までを男女別の総合成績によって決定した後、募集人員の1割に相当する人員を、男女合同の総合成績によって決定し、合格候補者とします。

【近隣の実施校】三田、向丘、日本橋、深川、大崎、目黒、田園調布、雪谷、桜町、深沢、松原、広尾、文京など

③全日制一次学力検査問題の自校作成

第一次募集において、自校で作成した学力検査問題3教科(国・数・英)と都立高校共通問題2教科(社・理)により実施します。

【実施校】日比谷、戸山、青山、西、八王子東、立川、国立(普通科)新宿、墨田川、国分寺(普通科単位制)

④インフルエンザ等学校感染症罹患者に対する追検査 新型コロナ感染も含む

インフルエンザ等の学校感染症に罹患し、第一次募集を受検することができなかった場合には、申請により、追検査を受検することができます。その場合、中学校長を経由して、申請書を都立高校に提出する必要があります。同時に罹患証明書等も必要になります。提出期限は2月22日(月)午後5時までとなります。

後期・二次募集にも出願できますが、どちらか一方の受検になりますので、よく考えることが必要です。

⑤一般の学力検査における日本語指導を必要とする生徒等に対する措置

国籍を問わず、日本に入国6年以内で、日本語指導を必要とする志願者は、都立高校共通問題で学力検査を実施する高校を志願する場合、または、在京外国人生徒対象の高校を志願する場合、申請により、ひらがなのルビを振った検査問題での受検が可能です。提出書類があります。

⑥一般の学力検査における外国籍の受検者に対する措置

日本に入国後3年以内の学国籍の志願者は、志願する高校が共通問題で学力検査を実施する場合、申請により、ひらがなのルビを振った問題に加えて、辞書の持ち込み(国語以外)、検査時間の延長が可能です。

入国3年を超えていても、6年以内であれば、ルビ付き問題での受検が可能です。提出書類があります。

⑦本人得点の開示及び学力検査における答案の開示

受検者または保護者は、受検した都立高校長に対して、学力検査等得点及び学力検査における答案の開示を請求することができます。今年度の変更点は、不合格者からの受付開始日を入学手続締切日の翌日からとなります。※推薦に基づく選抜は、第一次募集・分割前期募集の入学手続締切日の翌日から。合格者からの受付は令和3年5月6日から。

★詳細は以前にお配りした「令和3年度 東京都立高等学校に入学を希望する皆さんへ」や11月にお配りする予定の「東京都立高等学校募集案内」でご確認ください。

VII.おわりに

①結果ではなく過程を

入試ですから合否が出ます。本当によく頑張っているのに、思わしくない結果が出ることもありますし、その逆もあり得るのが入試です。結果もちろん大切ですが、そこに至るまでの過程を大切にしていきたいと思っています。結果だけを見て喜んだり悲しんだりするのではなく、お子様の頑張りを見てあげてください。

②どこに進学したかではなく、進学した高校で何をするか

ある私立高校の説明会でこんな話をきいたことがあります。「うちの学校の入学式では、新入生はみんな下を向いているんです。」と。その高校は、公立第一志望の生徒が併願優遇制度を利用して受験することが多い高校で、入学してくる生徒は、つまり第一志望に合格できなかった生徒が多いということなのです。しかし、先生方は新入生に高校で学ぶ意義を説き、誇りを持って高校生活を送ってほしいと、さまざまな投げかけをするそうです。やがて、生徒たちは笑顔を取り戻し、新たな目標を見つけ、充実した高校生活を送り始めるのだそうです。

受験する高校は順位こそあれ、どこも志望校です。どの高校に入っても、大切なのは本人の気持ちです。高校生活を充実したものにさせるのは、自分自身なのです。高校は人生の通過点の一つですなのですから。

③中学校生活を全うしてください

中学校生活も残り少なくなってきました。義務教育のまとめの時期に入っていきます。と同時に、これからみんな入試モードに入り、精神的にも落ちつかない時期に入っていきます。勉強に対する焦りから、入試が迫ってくると、学校を休んで家で勉強したいなどと言い出す生徒も出てきます。しかし、我々のこれまでの経験から言えることは、そういう勉強の仕方をしては必ずしもいい結果は出ないということです。焦らず、普通の生活を送り、平常心で入試を迎えることが大切です。義務教育を最後まで全うしてください。

④受験はチーム戦

ひとりひとり受験する高校も受験の仕方も合格の時期も違います。だからこそ、「受験はチーム戦」という意識を大切にしてほしいと思います。早めに合格が決まった人が、自分は決まったら関係ないというような態度で学校生活を送ったり授業に臨んだりしたら、学年の雰囲気はどうなるでしょう。全員の進路が決まるまで、受験勉強に集中できる環境をみんなで作って下さい。

⑤どの進路先もそれぞれの第一志望

それぞれが一生懸命考え、家族と相談して決めた志望校です。その人の第一志望校を、他人がとやかく言う権利はありません。自分にとって第二志望校でも、ある人にとってはその高校が第一志望校であることも良くあります。また過去の情報や校風、うわさ話だけで高校の批評をしないでください。保護者の方には特に注意していただきたいと思っています。

進路用書類の資料・中学校3年間の活動記録

資料1

※受検（受験）関係の書類を作成するための資料とさせていただきますので、ご家族と相談しながら正確に丁寧に楷書で記入してください。

提出期限は10月30日（金）です。期日厳守です！

なお、記入して提出したこの用紙はコピーして皆さんへお渡しします。高校へ提出する書類（願書や自己PRカード等）を書くときなど、参考にして、この通り記入してください。

1. 原則として住民票と同様に記入。ただし、略字は可能です。みなさんが記入して提出する願書等の書類は統一してここに書いた通りに記入してください。通称名を使う時は「本名（通称名）」のように記入します。

ふりがな			
生徒氏名			
生年月日	西暦	年	月
	平成	年	月
ふりがな			
保護者氏名			生徒との 続柄
住 所	〒 東京都 区		
	電話番号 ()		

2. 生徒会、委員会、実行委員会活動を記入してください。（役職＝例：委員長、副委員長等）

学年	期	生徒会・委員会名（役職）	実行委員会名（役職）
1年生	前期	()	()
	後期	()	()
2年生	前期	()	()
	後期	()	()
3年生	前期	()	()
	後期	()	()

3. 係活動を記入してください。

1年生	前期	
	後期	
2年生	前期	
	後期	
3年生	前期	
	後期	

4. 部活動を記入してください。(役職=例: 主将、部長、キャプテンなど)

	部活動名 (役職)	大会での入賞・表彰 (正式名称で記入)
1年生	()	
2年生	()	
3年生	()	

5. 部活動以外で表彰されたこと。校内も校外も記入する。(例: 区陸、都展、表彰など)

1年生	
2年生	
3年生	

6. 資格を取得していたら記入してください。(例: 英検〇級、漢検〇級、書道〇段、など) (取得した時期)

例: 英検3級 (2年次)

7. 学校外で活動していること。(例: ボランティア活動、習い事、少年消防団など)

8. 趣味、特技について記入してください。

第3学年保護者様

港区立六本木中学校
校長 石原 嘉人

「諸活動の記録」記入について

三者面談も終わり、ご家庭でも、学校でも進路決定への最終準備の時期となりました。

そこで、出願の際に提出する調査書に記載する「諸活動の記録」の基となる内容をお知らせください。「諸活動の記録」にはお子さんの学校内外で活躍した事柄を記入します。面接等で聞かれる内容ですので、お子さんと相談の上、ご記入ください。

なお、実際の都立用調査書に記入した内容は、成績とともに、各ご家庭に後日連絡いたします。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

1. 内容

3年間の中学校生活で成果を挙げた、または積極的に取り組んだ委員会活動、学級活動、学校行事部活動や、各種大会・コンクールでの入賞の状況、取得した資格、ボランティア活動、学校外の活動の状況などの事実や実績のみを記入してください。

例)

- ・ 図書委員として「図書だより」の作成を担当（第3学年）
- ・ テニス部員として、区大会新人戦で3位入賞（第1学年）
- ・ 都美術展に出展（第2学年）
- ・ 英検3級、漢検準2級を取得（第2学年）
- ・ 吹奏楽部に3年間所属し部長を務めた（第1～3学年）

2. 字数 下記の の中に、箇条書きでお書きください。

3. 提出期限 11月 日()

諸活動の記録

提出期限 11月 日()

1
2
3
4
5

3年 組 番 氏名

保護者氏名

諸活動の記録 記入例

内容項目がたくさんある場合、すべてを記載できない場合がありますので、必ず優先順に書いてください。コンクールや大会名は、できるだけ詳しく調べたうえで記載してください。資格検定については、合格証書を提示できるように準備しておいてください。

※「よくやった」「がんばった」「一生懸命取り組んだ」などの表現をこの欄には入れることはできません。

※あくまでも継続的な活動(校外の活動も可)の事実、大会で入賞、検定に合格などの結果を書いてください。

例

- ・漢字検定準2級を取得(第3学年)
- ・英語検定3級を取得(第2学年)
- ・〇〇〇部の部長を務めた。(第2、3学年)
- ・校内合唱発表会において伴奏(指揮)を担当した。(第1～3学年)
- ・□□□部キャプテンとして港区〇〇〇大会に参加し準優勝入賞(第3学年)
- ・〇〇部に3年間所属し、港区新人大会で3位入賞(第2学年)
- ・生徒会役員を務めた。(第2、3学年)
- ・学級委員を3年間務めた。(第1～3学年)
- ・生徒会役員として、交通安全ボランティアに参加した。(第1学年)
- ・港区市民マラソン大会のボランティア活動に参加した。(第2学年)
- ・港区陸上大会に参加し、100m走第2位入賞。(第2学年)
- ・税の作文で区長賞を受賞した。(第3学年)
- ・整美委員として冬の落ち葉掃きを担当した。(第2学年)
- ・書初めが区展に出展された。(第1学年)
- ・技術作品が都展に出展された。(第2学年)

都立高校推薦受験 確認書

令和元年 月 日

港区立六本木中学校長

石原 嘉人 様

3年 組 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

私は、下記の確認事項を守ることを約束いたしますので、次の高等学校への推薦をお願いいたします。

都立 _____ 高等学校(_____ 科、 _____ コース)

「推薦受験を希望するにあたっての決意」

<確認事項>

1. 推薦による入学が内定もしくは確定した段階で、他の高等学校は一切受験せず、必ず上記の高等学校に進学いたします。
2. 六本木中学校の推薦を受けた者として、今後も校内推薦基準にふさわしい生活態度をとることを誓います。
3. 推薦された後も積極的に中学校生活に取り組み、今後も他の生徒の模範となるように努力いたします。
4. 高等学校入学後は、六本木中学校の代表としての自覚をもって、高校生活を充実させるよう努めます。
5. 推薦確定後、校内推薦基準を満たさないことが発覚した場合は、推薦が取り消しになっても意義申し立てはいたしません。

<校内推薦基準>

- ① 受験する高等学校が定める基準に合致している生徒
- ② 生活態度が真面目である生徒（積極的な態度・素直な態度・身だしなみ・欠席遅刻早退見学が少ない）
- ③ その学校を第一希望にする生徒
- ④ 授業や学校の諸活動に積極的に取り組んでいる生徒（生徒会、係活動、部活動に真面目に熱心に取り組む。授業にしっかり参加する。きちんと仕事をこなす。）
- ⑤ 学校の規則を守る、卒業まできちんとした生活をするを約束できる生徒

私立高校推薦受験 確認書

令和元年 月 日

港区立六本木中学校長
石原 嘉人 様

3年 組 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

私は、下記の確認事項を守ることを約束いたしますので、次の高等学校への推薦をお願いいたします。

私立 _____ 高等学校(_____ 科、 _____ コース)

「推薦受験を希望するにあたっての決意」

<確認事項>

1. 推薦による入学が内定もしくは確定した段階で、他の高等学校は一切受験せず、必ず上記の高等学校に進学いたします。
2. 六本木中学校の推薦を受けた者として、今後も校内推薦基準にふさわしい生活態度をとることを誓います。
3. 推薦された後も積極的に中学校生活に取り組み、今後も他の生徒の模範となるように努力いたします。
4. 高等学校入学後は、六本木中学校の代表としての自覚をもって、高校生活を充実させるよう努めます。
5. 推薦確定後、校内推薦基準を満たさないことが発覚場合は、推薦が取り消しになっても意義申し立てはいたしません。

<校内推薦基準>

- ① 受験する高等学校が定める基準に合致している生徒
- ② 生活態度が真面目である生徒（積極的な態度・素直な態度・身だしなみ・欠席遅刻早退見学が少ない）
- ③ その学校を第一希望にする生徒
- ④ 授業や学校の諸活動に積極的に取り組んでいる生徒（生徒会、係活動、部活動に真面目に熱心に取り組む。授業にしっかり参加する。きちんと仕事をこなす。）
- ⑤ 学校の規則を守る、卒業まできちんとした生活をするを約束できる生徒

私立併願優遇受験 確認書

令和元年 月 日

港区立六本木中学校長
石原 嘉人 様

3年 組 生徒氏名 _____

保護者氏名 _____ 印

私は、下記の確認事項を守ることを約束いたしますので、次の高等学校への併願優遇受験の手続きをお願いいたします。

_____ 高等学校(_____ 科、 _____ コース)

第1志望校

都立 _____ 高等学校 (_____ 科、 _____ コース)

第2志望校

私立 _____ 高等学校(_____ 科、 _____ コース)

<確認事項>

併願優遇により合格し、入学が内定もしくは確定した段階で、優遇条件に示した高校以外は一切受験せず、第1志望校(公私併願の場合は第2志望校)が不合格になった場合は、必ず上記の高等学校に進学いたします。

都立の第二次募集・分割後期の受検はいたしません。

受験関係書類作成依頼書

文化スポーツ等特別推薦実施校の選抜方法等一覧

文化スポーツ特別推薦書

都立入学願書

裏面

